

【発行所】
 佐賀県三養基郡みやき町
 大字原古賀7324
 独立行政法人
 国立病院機構 **東佐賀病院**
 【編集発行】 広報委員会

《基本理念》

信頼関係を大切にし、
 地域に根ざした
 良質な医療を提供します。



後部神社(みやき町)

ごあいさつ



院長 貞松 篤

新年明けましておめでとうございます。
 平成23年ガスタートしましたが、皆様よい年を迎えられたと思います。
 平成22年は当院にとって非常に充実した年であったと言えます。ここで簡単に昨年を総括してみます。
 第一に医師3名、薬剤師1名、言語聴覚士2名を増員し北島副院長を招聘できた事です。優秀な人材・新しい職種を確保することにより、より良質な医療を提供し、東佐賀病院の更なる発展に繋げたいと考えます。
 第二に院内標榜臨床研究部を立ち上げたことです。辻外科医長に臨床研究部長に就任して頂きました。従来当院での臨床研究は各部門で個別に行われ、他院に比し見劣りがすると云わざるを得ない状況です。今後辻部長の下で一元的に把握・管理し、病院として組織的な臨床研究・治験の促進に取り組みたいと考えています。
 第三に林眞夫前院長（現名誉院長）時代からの悲願でありました、地域医療支援病院の承認を得たことです。地域医療支援病院とは地域医療連携・救急医療・研修活動が充実した施設に対し、二次医療圏に原則一施設、県から与えられる名称です。当院の基本理念を思い出して下さい。「信頼関係を大切にし地域に根ざした良質な医療を提供します」と謳っています。東佐賀病院はこの基本理念を達成するために存在し、職員はこの基本理念を実現するために仕事をしています。ここで我々の基本理念と地域医療支援病院の目指す姿が図らずも一致することがわかります。そこでこの基本理念に一步でも近づくために、名称取得を病院目標としました。平成16年林眞夫前院長により地域医療連携を強化するために開放型病床の設置。平成21年研修活動を強化するために地域医療研修センターの設置、地域医療連携・救急医療の評価指標である地域医療支援病院紹介率60%、逆紹介率30%の達成。平成22年医療法上での標準医師数・薬剤師数の確保。以上の経過で名称取得へ至りました。これにより診療報酬上優遇されることとなりますが、なんとと言っても病院のステイタスとなるものです。県内では四番目の指定です。県からも重点病院として認められたわけですので、皆様自信と誇りを持って仕事をして頂きたいと考えます。
 以上平成22年を振り返り、今後の基本方針の一部を述べましたが、当院は旧療養所の伝統を引き継ぎ、医療の多くを感染症疾患が占めています。もちろん感染症医療は重要で必要な分野ですが、今後は各診療科の専門性を発揮できる医療の展開も必要と考えます。
 今年は新病棟の着工も予定されています。皆様この一年明るく希望に満ちた年となるよう一緒に頑張っていきましょう。

目次 * 題字「ひがしさが」 平野 長照 名誉院長 書

■ ごあいさつ	1	■ 運送室トピックス	8
■ 今年の抱負/新年を迎えて/新年にあたり	2	■ 人事異動	9
■ 研修・講習等報告	3	■ 地域医療連携室のご案内	9
■ 第64回国立病院総合医学学会に参加して	4・5	■ 医事統計	10
■ 行事報告	6・7	■ 外来診療担当医表	11
■ 感染管理室情報	7	■ 病院アクセスマップ	12
■ 職場紹介	7	■ 地域医療研修センターのご案内	12



今年の抱負

検査科 吉原 正保

昨年は4月より東佐賀にお世話になり初めの単身赴任生活がスタートしました。

熊本のお宅に週末はなるべく帰るようになっていますが、家族は仕事、バイクなどでほとんど会わず、狂ったように出迎えてくれるのは体重32キロの「ニーアソクソク」のツワのスーパーのみで、この犬に会うための帰っているといつても過言ではありません。日常生活も最初は楽しかったのですが当番で土日誰とも会話しず一人である、さびかに孤独になり、たまに嫁にメールすると「了解」の二文字しか帰ってこない有様です。

夫あ、そんなことはどうでもいいのですが肝心の年男として今年の抱負ですが、仕事の面では11月に新築予定の検査室への移動がスムーズに行えるよう努めたいと思います。



新年を迎えて

栄養管理室 富安 祐美

明けましておめでとうございます。早いもので、平成18年4月に東佐賀病院に転勤してきてから、6年目を迎えようとしています(その間、2回の産休・育休を取らせていただきましたので、実質は3年程しか働いていませんが...)。昨年8月より育児休業から復帰させていただき、職場の方々の多大なる協力のおかげで仕事と子育てをなんとか両立できています。交えてくださる周りの方々に感謝、感謝です。



新年にあたり

2病棟 古川 葵

明けましておめでとうございます。看護師になり、また、東佐賀病院の職員になり2年目もそろそろ終わろうとしています。2010年を振り返ると、2年目といたこともあり、病棟にも徐々に慣れてはきたものの、まだまだ未熟なために、特に病棟のスタッフの方にはとても迷惑をお掛けしてきました。1年目の終りの頃も「2年

毎年、年賀状を作成するときにか干支を気にすること

もなく、数か月もすると「今年は何年だったの？」と考えても思い出せないほどですが、昨年末に「年女の記事を眺めたい」と依頼され、西原くんと自分の歳を認識させられました(涙)。子供の成長は楽しみですが、それに伴い自分の年齢も増えている実感はな...。これからまた12年後の年女の時に「充実した12年だった」とすがすがしく言えるように、日々努めていきたいと思っています。

ちなみに業務ではNSTと1・2病棟を担当させていただいています。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

自己ほしくかりたい<ては11>と思っていました...。3年目を病棟のスタッフの方から「おめでとう」と思われるように、一歩ひとりの業務を確認しながら、差回席の基本を忘れない業務にあたりたいと思います。



研修・講習等報告

平成22年度重症心身障害児(者)看護 エキスパートナース研修を受講して

11病棟

回廊 給子



10月18日～22日まで、福岡病院で研修に参加させていただきました。九州管内の重心病棟に勤務している看護師15名が参加しました。今回の研修に参加し、重症心身障害児(者)看護の役割・看護倫理・栄養管理・口腔ケア・摂食ケア・ポジショニング・リラクゼーション・リスクマネジメントまで講義を受けることで基礎から学び直すことができました。

後半は、福岡病院の重心病棟で実習ができました。傾斜配置になっていること、療養介護職(介護福祉士)が入っていること等が東佐賀病院と違っていましたが、重心における看護の基本は同じだと感じました。一番印象に残ったのは、人工呼吸器を装着しており体動が激しいにもかかわらず、小児である患児の成長発達を考えて安易に抑制していないことでした。人工呼吸器管理が20名というなかで、そういった姿勢で看護されていることに感動しました。自分の姿勢を振り返る良い機会となりました。

また研修メンバーでのグループワークでは、自分たちの抱えている問題点と解決策を話し合いました。それぞれ、摂食ケアや口腔ケアなどと同じ問題・悩みを抱えており、悩みを話すことで気持ちが軽くなり、よいアドバイスも頂くことができました。

福岡病院の病棟実習やグループワークから、重症心身障害児(者)看護において、個別性を考えた看護が重要とあらためてわかりました。それは、看護倫理や安全な看護の提供にも繋がっています。今回、食事援助・口腔ケアの質の向上という課題をもって研修にのぞみましたが、福岡病院の取り組みや他施設の取り組みからたくさんのヒントを得ることが出来ました。今後もこの学びを活かして看護ケアの向上につとめていきたいと思えます。

このような有意義な研修に参加できる機会をいただき、ありがとうございました。

実習指導者養成講習会に参加して

手術室

給子 健子



研修場所：九洲医療センター 研修期間：平成22年8月13日～10月15日

今回実習指導者講習会に参加し、『実習指導の原理』『青年心理』『教育心理』などの講義や、看護論、実習指導案作成の演習を通して、『看護とは』、『指導とは』、『教育とは』ということについて多くのことを学ぶことができました。

講義を通して、現在の看護師教育課程の現状を知り、学生教育に求められているレベルの高さと複雑さに驚き、学校や実習場の重要性について考えさせられました。また教育を受けている学生の心理、特徴を知り自己の指導を振り返ることができました。

今後、学生が看護のすばらしさを体験できるよう看護場面の設定や、自身の看護体験を通しての学びを言葉にして伝えていきたいと思えます。そのために、学生のレディネスを理解し、実習の目的・目標に合った指導内容・指導方法を検討していきたいと思えます。

また、指導を行うことは自分自身が学生から新たな気づきや学びを得ることができる場でもあることを学ぶことができました。今回の学びを臨床の場で活用し、学生と共に日々成長していきたいと思えます。

この貴重な学びの機会を与えて下さったことに感謝し、お礼を申し上げます。

日本医療マネジメント学会 (第9回九州・山口連合大会)での発表を終えて

手術室・中材

平嶋 勝徳



平成22年11月5日に佐賀市文化会館において「ME機器の中央管理に向けた取り組み」をテーマに発表を行いました。佐賀市文化会館の会場はとて広く、壇上に立った時は、とても緊張してしまい、会場の皆さんに「自分の頻拍ぞみの心臓の鼓動が聞こえているのではないだろうか？」と思うと緊張の反面、とても恥ずかしい思いながらの発表となりました。

院内での取り組みは、平成21年6月に手術室・中材に配属後、「ME機器のより安全で効率的な運用」、「メンテナンスコスト削減」、「現場に即した教育」を目的に活動を行ってきたものを発表しました。看護師、臨床工学技士の二足のわらじをはき、手術室、中材の仲間たちの協力を得ながら、看護業務の間にME業務を行なっています。まだ取り組みを始めて1年も満たない内容ですので、大きな成果は得られていませんが、学会での発表は、日々の取り組みを振り返り、問題点の明確化や、次のステップに進むための足がかりになる機会となったと思えます。現在は、来年度にME機器の院内での保守メンテナンスでスタートさせるため、環境、設備の充実、技術の充実に向けてメーカー研修にも参加しています。

今回の学会への参加・発表は、様々な取り組みにチャレンジを行なっている方々の、考えを知る良い機会となり、またいい刺激となりました。今後も、続編が発表できるよう取り組んでいきたいと思っています。

第64回国立病院総合医学会に参加して

私は、今回、国立病院総合医学会においてボースターセッション「重症心身障害」の座長をさせて頂きました。



座長 山田 豊徳

これまで総合医学会でボースターセッションの発表を行った経験はありませんが、座長は初めてであり、お話をいただいた時大い落ち着かない気持ちでした。

当日は緊張している間に時間過ぎてしまいましたが、何とか予定時間通りには8演題の発表・質疑応答の進みを行って頂くことができました。反省点はもちろん余裕をもって、発表者の緊張も慮せるくらいのリウツスリした表態でできればよかったのですが、。けれども自分の中では、役目を終わらせることができホッとしています。また、発表内容を通して、看護者として日々行っている看護の質の向上に努力し、東佐賀病院からも多くの取り組みを発信しているようにしたいという思いがこみあげてきました。

今回の体験を次のステップに生かせるよう更に、精進していきたいと思っております。このような貴重な機会を与えていただきありがとうございます。

私は11月26日、27日に開催された国立病院総合医学会に参加しました。26日には「講義合8」の座長を行い、8演題あり、他部門との連携・業務改善・研修者定員の向上を取り上げた内容でした。これらの内容は他施設でも取り組まれており、とても興味深かったです。



座長 高橋 秋実

発表した経験は何度かありましたが、今回は座長の立場であり、タイムスケジュールや質疑応答など上手に進行出来るかとても不安で緊張しました。しかし、全国の多くの方々からタイムスケジュールで、今後の方向性について考える良い機会となりました。

私はお恥ずかしながら、今回初めて国立病院総合医学会に参加させて頂きました。8月末に本部署事務局より、一般ボースター座長依頼を受けましたが、学会自体は分からず、ましてや座長という大役を務めあげる自信など全くなかったです。しかし、自分を試す機会と思いきや思いませんでした。



座長 高橋 宏樹

当日は学会開催会場横の「大相撲九州場所」が気になりつつ会場入りしましたが、国際会議場の豪華さ予想以上の参加者に驚かされました。「こんなに大勢の参加者の前で、滞りなく自分の責務を果たせるのかなあ〜？」と懸念を抱いておりました。

私が担当したセッションは、『一般ボースターセッション』で、筋力トレーニングや神経難病についての7演題でした。講演時間が分単位のスケジュールであったので、時間管理やスムーズな進行に心掛け、あらかじめ準備しておいた質問やコメントを投げ掛ける場面が多々ありました。タイムキーパー兼任、

で行っていましたが、時間配分をあまり質疑・討論に時間を割けなかった演題があったことや、積極的に討論できる場の雰囲気作りが不十分だった点など、自分の力量不足を痛感致しました。

午後からは任務遂行の安堵感もあり、落ち着いて講演を聞くことができました。『大相撲観戦』『長浜ラーメン』…と、数々の誘惑が頭の中を過ぎりながらも、いろいろな口演会場・シンポジウム会場・展示会場に足を運びました。様々な職種の事情や、普段の業務の中では知り得ない知識、各施設の様々な取り組みや研究成果など、非常に刺激を受けました。

今回の医学会参加で、反省点が多いながらも座長という貴重な経験ができたこと、継続的自己研鑽の必要性を再確認できたことに感謝致します。



企画課 滝之園 照彦

11月26日(金)・27日(土)に福岡国際会議場において第64回国立病院総合医学会が開催され、2日目の午後、口演を行いました。演題は『患者とその家族に向けたアレルギー・喘息教室の開催』という、福岡病院としての参加でした。6月、まだ東佐賀病院への異動となる前に演題登録を行っていたものです。福岡病院と東佐賀病院の事務部長双方のお取り計らいによって施設をまわいで参加させて頂くことができました。当該セッションでは副看護部長業務のマニュアル化を発表した盛岡病院、自らが事故で肢体不自由者となり、その患者目線から病院の接遇に取り組む大阪医療センターの口演が印象的でした。

ポスターセッションでは全国から多くの、様々な観点からの取り組みが発表されており病院スタッフの意気込みと国立病院機構ならではの規模の大きさを実感しました。



病棟 岸川 理恵

11月26日・27日、福岡国際会議場にて開催された第64回国立病院総合医学会に参加させていただきました。ちょうどその時期、隣接の会場では大相撲九州場所が開かれており、学会会場と共に大勢の人々が賑わっていました。

私は学会2日目のポスター会場午前の部で、演題名「プリセプター支援を通して副看護師長の関わりを振り返る～新採用看護師支援表を用いて」を発表させていただきました。セッションの聴講に20～30名の方が集まられており、その熱い眼差しの中での発表だったため、とても緊張しました。さらに「既卒看護師のレディネス把握方法」について質問をいただき、緊張が高まる一方、多くの方が看護師教育や支援に力を注ぎ、人材育成に努力されている事を強く感じることができました。

今回の学会では、重症心身障害児看護や医療安全の分野において、他職種の研究発表を聴取する機会が多くありました。患者様を取り巻く看護師以外のコメディカルの方が、日々の業務の中からの素朴な疑問や患者様の思いに沿った内容に視点を置き研究発表されていた事から、私たち看護師はもっと看護の専門性を高めていく努力をしていかなければならない事を痛感しました。また、他職種と連携を図り、良質な医療・看護の提供につなげていくことを再認識する機会になりました。

今回、様々な方々のご支援をいただき、学会発表を無事に終了することができましたことを深く感謝いたします。

ない企画も好評でした。

演指導をはじめ、屋外においては消防車の見学、テント内に煙を焚いての煙体験とこの機会にしか体験でき

また、所轄消防署の皆様のご協力、AED（自動体外式除細動器）の操作業

「ザコーナーは、今回も、早い時間で“売切御免”の状態のようでした。

かつては行列のできるコーナーも見られました。

アソビ、性格・アトス、リハビリテーションなどの指導・相談も時間帯に

採血による生化学測定、骨密度や肺年齢の測定、他、手洗い、ソックス、

語りで多数の聴講者のご来場をいただきました。

村内科医長の「糖尿病をひっ飛ばせ！」と題してわかりやすいコーナーが

8ページの連携室トピックスでもご紹介しておりますが、今回の講演会は少

数相談など多数の職員のご協力のもと盛況に終えることができました。

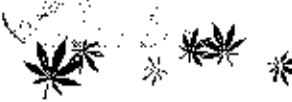
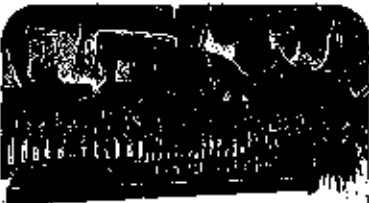
院内の地域医療研修センターと体育館を会場として、講演会、各種測定・医

10月23日（土）に開催されました。

東佐賀病院の秋の行事としていまま健康に関するイベント『健康つ祭』が

健康つ祭実行委員長(事務部長) 木村 喜美生

『健康つ祭』開催



ただけるような秋祭りの開催ができたと思っております。

き、スタッフ一同感謝しております。また、来年度も皆さんに楽しんでい

祭りを終えることができました。皆様からも好評の声を頂くことで

今年も、多くの家族やボランティアの方々に協力して頂き無事に秋

声がいなり、見とれたりと強い思いに時間を過ごされました。

んが一番楽しみなされています。暗くなった夜空に打ち上がる花火に歓

そして、ライオンダンスは「花火」です。秋祭りの催しの中でも皆さ

振付けの音頭をとって下さり、みんなで揃って踊ることができました。

した。次に飛び入りで入ってきたのが「放銃節」です。急なお願にも関わらず、ボランティアの方が快

だが、投光器で照らされた中で和太鼓はとても幻想的で、心に響く演奏を聴かせていただくことができま

奏です。太鼓の大きさもさることながら、昔の大きさに圧倒されるほどの表情を見せる方もいらっしゃい

したり、一緒に踊ったりして楽しんでいました。そして、夕日も知んだ頃に聞こえてきたのが和太鼓の演

今年の秋祭りは「おさこい」からスタートです。軽快な音楽と唄子の音に身体を揺らしたり、囃子を響ら

殆ど足時刻にはすでに会場全体が熱気に包まれていました。

しみにされていたようで、早くから会場に到着していた方々も多く、留

毎年恒例となっている秋祭りの為か、観音様、御家祭共にこの日を楽

かりあがり、心地よい秋園の中楽しい時間を過ごすことができました。

や御家族、スタッフの思いが通じたのが、開催される夕方には雨もすこ

当日は朝からあいにくの雨。外での開催が危ぶまれましたが、観音様

が開催されました。

去る9月8日（水）、東佐賀病院重症心身障害児者病棟の「秋祭り」



療育指導室 保育士
下田 奈央子

重症心身障害児者病棟「秋祭り」

行事報告

体育館のステージでは、福岡県宗像市にあります日本赤十字九州国際看護大学の学生さんによる沖縄の地域伝統の踊り“エイサー”のご披露をいただきました。太鼓の力強さ、エネルギッシュな踊りに来場された方、各ブースの職員も皆ステージに注目の時間でした。

快晴とまではいきませんでした、秋らしい気候が幸いでした。

ご来場の皆様、ありがとうございました。

それから6月の実行委員会の立ち上げ以降数回にわたる企画会議、前日までの諸準備、開催当日の活動と同委員会メンバーをはじめ病院職員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

今後もアンケートにていただいた結果から今回の反省点、次回の企画内容の検討点等を参考にさせていただき、当イベントの目的でもありましたが、地域住民の方に東佐賀病院を知っていただく、健康・医療に関して当院をご利用いただける施設となるよう努めていきたいと考えています。



感染管理室情報

感染管理室 古瀬 法子

感染管理室が誕生して半年が経過しました。インフルエンザウイルス・ノロウイルス等集団感染の危険性が高い感染症の流行を迎え、1年中で一番緊張する季節を迎えました。病院内の感染は、学校や会社で集団感染が起こる問題以上に高いリスクを抱えます。易感染状態の患者様の重症化、感染疑い職員の就業規制など、想像しただけで緊張が増します。

「備えあれば憂いなし」だけでは不十分で、「備えと初期対応あれば憂いなし」という思いを胸に、具体的な初期対応のマニュアル及び手順作成・実施評価を行っています。マニュアル及び手順は、実行されてこそ初めてその役割と本領が発揮できます。「解りにくいマニュアル」「文字ばかりで見づらいマニュアル」「根拠が見えないマニュアル」では意味が無いと考えます。他の施設では「脱・置かれたままマニュアル」宣言をされ、「全職種から愛されマニュアル」作りを目指していると聞きました。当院においても、現在のマニュアルの良さを残しつつ新たな改革を目指し、ICT委員と共に奮闘しています。(完成は3月予定です)

次年度の活動目標ですが、今以上に現場に足を運び、ウォーキング感染カンファレンスの時間を設けることです。確実な情報収集とタイムリーな実践指導を目指します。現場の皆様、よろしくお願い致します。また今年が出来なかったサーベイランス活動を行い、感染率の数値化・客観的なデータを元に皆様に情報を発信していきたいと考えています。看護大学の研修中、一番苦労して得た統計学の知識?を駆使して、解りやすいシンプルな図表を感染管理情報として提示していきたいと考えています。

私の目標



沈着冷静なカピバラの様に 忠実なハチの様に 頑張りますので、よろしくお願い致します。



13病棟の紹介

みなさんこんにちは
13病棟の紹介をします。

13病棟は重症心身障害児(者)の病棟です。13病棟では、重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複した、障害者のなかでも重い障害を持った児(者)の方々が40名生活されています。中には簡単な会話ができる方、食事は自分で摂取できる方、トイレで排泄ができる方もいます。

多くの方は自分で意志を伝えることが難しいので患者様の思いをくみ取ることは難しいですが、じっくり関わることで信頼関係を築けるよう日々スタッフ全員で取り組んでいます。また医師、看護師だけでなく、リハビリ理学療法士、言語聴覚士、児童指導員、保育士などさまざまなスタッフが関わりサポートしています。

スタッフの平均年齢は?歳、老若男女で頑張っています。穴井師長を筆頭に「やさしさ」「やすらぎ」「ここちよさ」をスローガンとして奮闘しています。どうぞこれからも宜しくお願いします。



★今後トピックスにて様々な情報を報告してまいります。

10月23日(土)健康つ祭2010の特別講演として「糖尿病をぶっ飛ばせ」をテーマに58名の参加を頂き、地域医療研修センターで講演を行いました。糖尿病井当を食事した後に講演を開始し、食生活の欧米化によりカロリーの高い食事をする機会が増え、糖尿病患者は年々増加しており、予防のためには食生活の見直しと適度な運動を継続して行うことが重要であると説明されました。また「糖尿病にかかってない」「進行してない」と思っている方も多いので、早期に糖尿病



「健康つ祭2010 特別講演：糖尿病をぶっ飛ばせ」講師：今村洋一 内科医長

10月23日(土)東佐賀病院(地域医療研修センター・体育館)にて「健康つ祭2010」が開催されました。連携会からは「医療保険・介護保険・福祉制度に関する相談コーナー」を開設して参加しました。当コーナーに来られた相談者は少なかつたのですが、「サー」や無料測定コーナー(血圧・体脂肪・骨密度・脚年齢など)、相談コーナー(医療・栄養・リハビリ)、ソフトケア、エッセイ展示、消防車展示、煙体験などが開設され、お年寄りから子供まで多くの来場者があり大盛況で終りました。来年も多くの方に来てもらうよう新たな企画を考えて参加していきたいと思ひます。



「健康つ祭2010」の参加報告

10月15日(金)炬方公民館において18名(炬方地区在住の60~80代の参加を頂き、出張講演を行いました。初めにメタボリックシンドロームについて説明を行い、内臓脂肪を減らすための食事療法として、夕食を3食/1週間より減らすこと、自己判断で主食の量を減らすと、おかきや多量に食してしまい塩分や脂肪を多く摂取し、おちたくなるので注意すること、野菜は1日350gは摂取するように説明がありました。また運動も適度に行うことが大切であると説明されました。最後に質疑応答を行い、受講者から大賛、参考になったと感謝されました。



「食事予防しよう！メタボリックシンドローム」講師：松永栄貴管理室長

地域医療連携推進では、地域住民や医療・福祉関係者等が病気を理解し、健康の維持・増進を図ることを目的として講演を行っております。10月は出張講演と健康つ祭を行いましたので概況を報告します。

好評！出張講演・健康つ祭2010の報告

連携室トピックス

発行元：東佐賀病院 地域医療連携室
TEL: 0942-94-3748 (直通)
FAX: 0942-94-3748
受付(内線692) 問口(内線606)
庶務(内線630)

Vol.14 2010.10

人事異動

personnel changes

◆採用者等

日付	職名	氏名	備考	日付	職名	氏名	備考
H22.10.1	一般職員	月川 将志	採用	H22.11.1	看護師(非)	河津 涼子	採用
H22.10.1	一般職員	嘉村 有梨	配置換 (看護師(非)→一般職員)	H22.11.1	看護助手(非)	平野 早苗	採用
H22.10.1	一般職員	蔵本 剣	配置換 (看護師(非)→一般職員)	H22.11.22	栄養士	野中 千尋	臨時的任用
H22.10.20	看護助手(非)	矢ヶ部 恵子	採用	H22.12.1	臨床研究部長	辻 博治	(外科医長)
H22.10.29	看護師	江島 利恵	復帰	H22.12.1	看護師(非)	富永 琴絵	採用
H22.11.1	看護師	渡邊 良子	復帰	H22.12.1	看護助手(非)	岩屋 紀子	採用

◆退職者

日付	職名	氏名	備考	日付	職名	氏名	備考
H22.10.31	副診療放射線技師	片島 勝昭	退職	H22.11.30	看護師(非)	大隈 美奈	退職
H22.10.31	調理助手(非)	大隈 智恵子	退職	H22.12.31	看護師長	橋爪 直子	退職
H22.11.12	事務助手(非)	龍頭 恵子	退職	H22.12.31	看護師	山村 麻衣	退職

地域医療連携室のご案内

《ご利用方法について》

1. ご紹介いただく場合について

「診療情報提供書(当院様式以外のものでも結構です)」に必要事項をご記入いただき、ファックスにてご連絡下さい。診療情報提供書をすぐ送信いただけない場合は、直接、新患担当医師又は各診療担当医まで電話にてご連絡下さい。その場合の診療情報提供書は、できるだけ患者様が受診される日時までに、地域医療連携室までFAXいただきますようお願い致します。

2. 緊急時のご紹介について

緊急を要するご紹介は、直接各診療科医師へご連絡下さい。

患者様の症状などを医師同士でご確認していただくことにより、受入体制、各種検査室の手配など迅速に対応できます。また、救急搬送によるご依頼の場合には、救急当番医師が対応致します。

3. 患者様へのご説明について

受診当日に「予約案内書」「診療情報提供書」「健康保険証」をご持参のうえ、外来受付窓口へご提出いただきますよう説明をお願い致します。

4. ご報告について

診療結果につきましては、地域医療連携室または担当医から、ファックス若しくは郵便にて速やかにご報告申し上げます。なお、報告がないようでしたら地域医療連携室までご一報下さい。

5. 入院のご依頼について

入院をご希望の場合でも、いったん当院の医師の診察後に決定させていただきますので、ご理解の程お願い申し上げます。なお、緊急の場合は直接各診療科へお電話いただき、担当医にご相談いただきますようお願い致します。

6. その他

お問い合わせ、ご不明な点やご意見ご要望等ございましたら、いつでも遠慮なく「地域医療連携室」へお知らせ下さいますように、お願い申し上げます。

独立行政法人国立病院東佐賀病院 地域医療連携室 ご連絡は下記のファックス又は電話をご利用下さい。

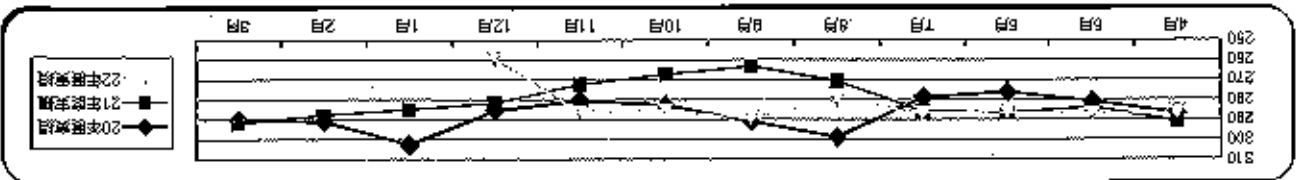
代表: TEL 0942 (94) 2048 内線309 E-mail: renkei@esaga.hosp.go.jp

直通: TEL/FAX 0942 (94) 3748 (FAXは24時間受付) 平日/午前8時30分~午後5時15分

*平日午後5時以降及び土・日・祝祭日受付分は、翌日など出来るだけ早急に返事を送らせていただきます。

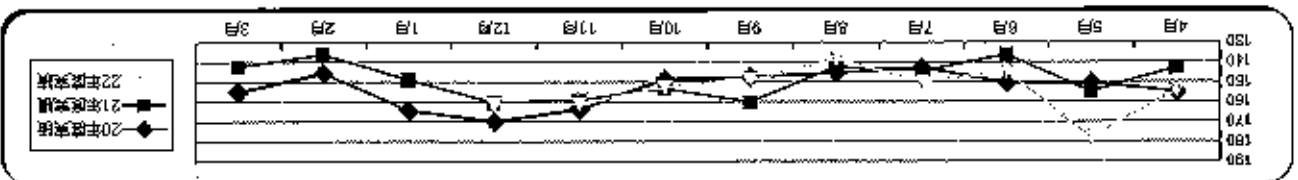
医事統計

1日平均入院患者数



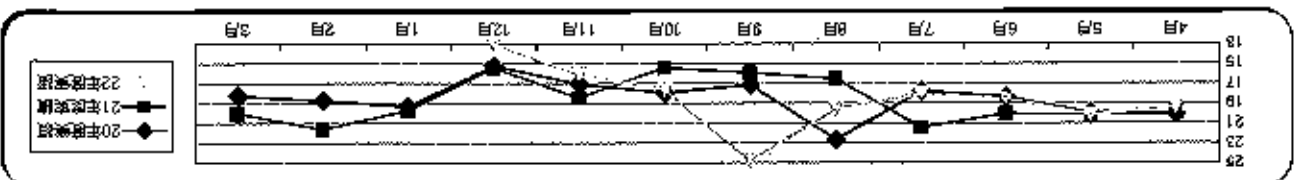
20年度実績	286.6	280.7	275.8	278.5	298.6	290.8	282.5	280.2	285.3	302.5	290.9	289.9	286.9	計
21年度実績	291.1	283.7	286.5	285.9	270.5	263.2	267.2	272.3	281.7	285.0	287.9	291.8	280.6	
22年度実績	286.5	287.3	286.3	286.5	280.5	289.5	285.1	286.2	259.4				283.0	

1日平均外来患者数



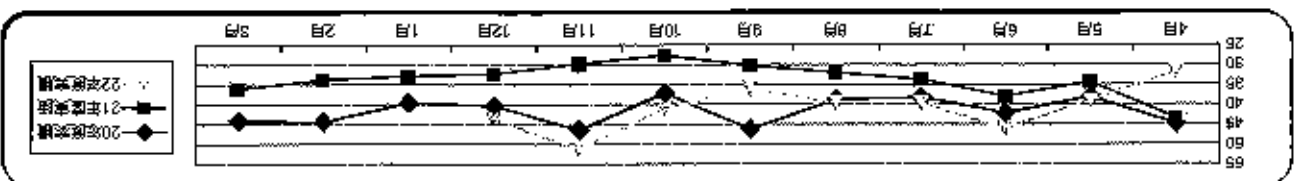
20年度実績	154.9	150.1	150.1	142.6	145.2	147.3	148.4	163.4	169.6	164.2	145.4	154.8	153.0	計
21年度実績	142.8	154.6	136.0	144.4	142.3	160.1	158.2	158.8	160.3	148.8	136.1	142.3	148.3	
22年度実績	154.2	178.1	144.3	150.0	138.3	149.1	152.6	161.0	161.2	161.2			154.3	

平均在院日数(一階病棟(重小・亜急性性を除く))



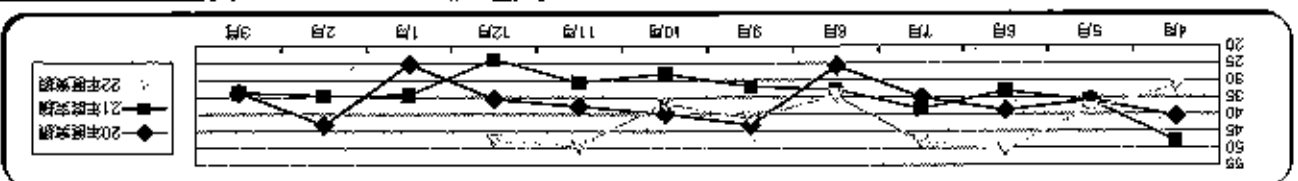
20年度実績	20.1	19.9	18.3	17.7	22.6	17.1	17.9	17.0	15.2	19.3	18.7	18.2	18.5	計
21年度実績	19.4	20.1	20.0	21.4	16.5	15.9	15.4	18.4	15.4	19.7	21.6	20.0	18.7	
22年度実績	19.4	20.1	18.5	18.0	19.6	24.8	17.6	16.1	13.1				18.6	

紹介率



20年度実績	44.8	37.9	42.0	38.1	38.6	46.1	37.0	46.2	40.2	39.4	44.3	44.0	41.6	計
21年度実績	43.4	34.2	37.8	33.6	31.9	30.1	27.5	29.6	32.2	32.7	33.7	36.0	33.6	
22年度実績	31.8	38.9	46.1	39.5	39.5	36.1	41.1	51.3	43.5				40.9	

逆紹介率



20年度実績	40.5	35.7	38.7	35.0	25.6	43.0	39.6	37.5	35.4	25.1	43.1	33.5	36.1	計
21年度実績	47.8	35.8	33.0	38.3	32.6	31.6	27.9	30.4	23.7	34.2	34.5	33.5	33.6	
22年度実績	31.7	38.3	50.6	48.0	34.4	41.1	36.8	49.3	47.7				42.0	

外来診療担当医表



独立行政法人国立病院機構

東佐賀病院

FAX 0942-94-3137

 ホ-ムペ-ジ <http://www.higashisaga-hosp.jp>

(受付時間) 月曜日～金曜日

新患/8:30から11:30

再来/8:30から11:30

※急患はこの限りではありません

小児科は午後も診療を行います。

13:00～16:30 (月、金)

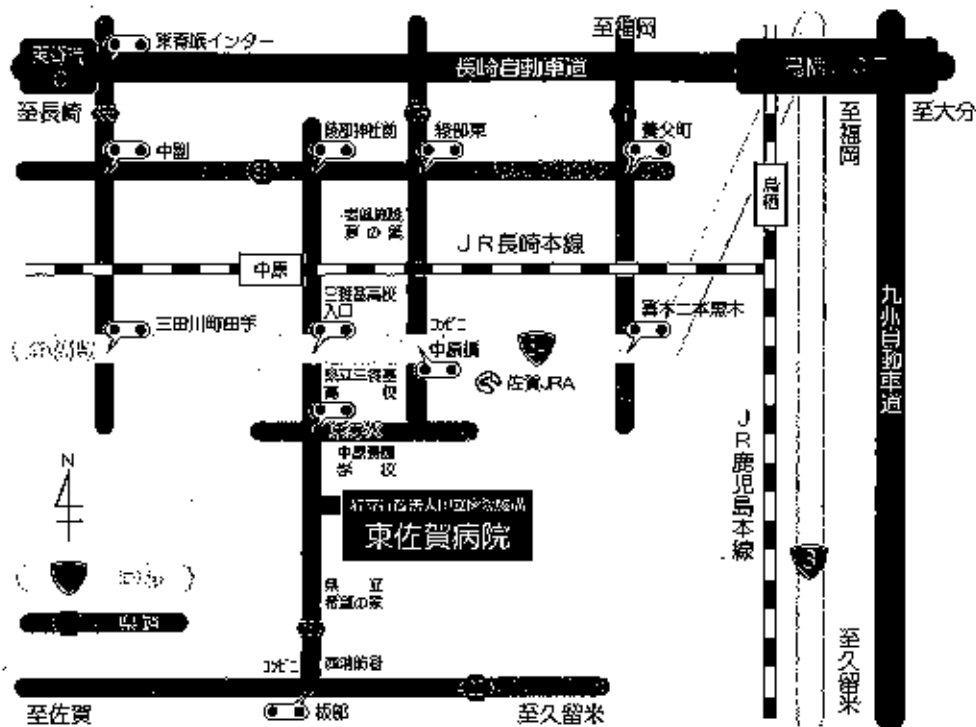
14:00～16:30 (火、水、木)

《平成23年1月1日》

科 目		月	火	水	木	金	
内 科	新 患	貞松 篤	小江 俊行	大井 順二	犬山 正仁	千布 節 <small>(※1,3,5)</small> 永田 剛 <small>(※2,4)</small>	
	再 来	呼 吸 器	千布 節	千布 節	小江 俊行 犬山 正仁	小江 俊行	犬山 正仁 <small>(※2,4)</small>
		消 化 器		大井 順二		大井 順二	
		循 環 器	永田 剛	貞松 篤	貞松 篤	永田 剛	安川 秀雄
		糖尿病・内分泌	今村 洋一	今村 洋一	今村 洋一	今村 洋一	重本 望美
外 科	消化器・呼吸器	北島 吉彦 松倉 史朗	辻 博治 北島 吉彦	松倉 史朗 辻 博治	辻 博治 北島 吉彦	松倉 史朗 辻 博治	
	乳 腺 外 科					北島 吉彦 松倉 史朗 <small>(午後1:30～予約制)</small>	
小 児 科	一 般	午前	荒牧 修一	荒木 則子	富永 薫	荒牧 修一	富永 薫
	一 般	午 後	久田 直樹	久田 直樹	荒牧 修一	沖 眞一郎	久田 直樹
	心 身 症		久田 直樹	久田 直樹	荒牧 修一	沖 眞一郎	久田 直樹
	アレルギ-		久田 直樹				久田 直樹
	夜 尿 症				荒牧 修一		
	神 経				金子 美香 <small>(午後1:30～4:00)</small>		
整 形 外 科	一 般	釘本 康孝 高山 剛	釘本 康孝 上通由紀子	高山 剛 上通由紀子	釘本 康孝 上通由紀子	高山 剛 上通由紀子	
	専 門	骨粗しょう症	釘本 康孝				
		関 節				釘本 康孝	
		形 成		陣内 卓雄 <small>(午後2:00～5:00)</small>			
放 射 線 科		牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽	
消 化 器 内 視 鏡		大井 順二			松倉 史朗	大井 順二	
呼 吸 器 内 視 鏡				辻 博治			
心 工 口 一				永田 剛			
眼 科				午後	午後		

- 栄養相談は、月曜日～金曜日まで毎日行っています。
- 院外からのCT申込は直接、放射線科に連絡ください。(TEL 0942-94-2048 内線249)
- 小児アレルギー外来は、小児の喘息、アレルギー性鼻炎やアトピーなどの診察、相談を行っています。
- 小児神経外来は、予約制ですので事前に小児科外来へご予約下さい。
- 歯科、皮膚科、心療内科は入院のみ行っています。
- 金曜日の乳腺外来は、予約制ですので事前に外科外来へご予約下さい。

病院アクセスマップ



- JR長崎本線普通列車「中原駅」下車。南へ徒歩15分(1.4km)
 - 鳥栖駅～中原駅間 約9分
 - 佐賀駅～中原駅間 約17分
- 西鉄バス(西鉄久留米)～(鳥栖駅)間(おやべ経由41番)の「東佐賀病院前」にて下車。
 - 西鉄久留米より 約30分
 - JR久留米より 約20分
 - JR鳥栖より 約30分
- 九州自動車道及び長崎自動車道
 - 鳥栖インターより(国道34号線経由) 約30分
 - 東脊振インターより(県道31号線経由) 約20分

地域医療研修センターのご案内

本センターは医療従事者の方であれば利用者の職種は問いません。

病院の職員をはじめ地域住民の皆様、及び医療機関の皆様、講演会・研修会・勉強会等医療・健康に関するコミュニケーションの場としてご利用下さい。

●お申し込み・お問い合わせ先●

東佐賀病院
管理課庶務係

☎0942(94)2048
(内線333又は219)

編集後記

みなさん、新年おけましておめでとうございます。
 昨年は、地域の皆様のお陰様で、佐賀県の地域支援病院となり、無事新年を迎えることができました。

この数年地域医療の崩壊が叫ばれていますが、当院がこの地域の医療に少しでも貢献できるよう、スタッフ一同努力してまいりますので、本年もよろしく願いいたします。

(編集委員長 今村 洋一)